

## 2017～2018 部長方針・活動計画

瀬戸山陰部部長 福永 君二（米子）

### 1. 部長主題

地域に根差し、タレントを活かして社会の必要に応えよう。

～ オール瀬戸山陰部でYMCA・ワイズメンズクラブをサポート ～

### 2. 活動方針

瀬戸山陰部の各クラブは、それぞれが異なった環境・地域・文化圏にあり、YMCAとの関係も異なった背景を持っているが、それぞれバラバラに活動するのでは、その力も弱い。EMCの視点で考えると、各クラブともメンバー数の停滞や高齢化などによって、その情勢は、西日本区の中で最小の状況に置かれている。当然、会員増強は緊急な課題ではあるが、数を増やすことが目的となつては、本末転倒である。

そこで、今期四つの活動方針を掲げたい。

- ①オール瀬戸山陰部でYMCA・ワイズメンズクラブをサポートしよう。
- ②私たちの活動の意義と存在価値を私たちの言葉で自信をもって語ろう。
- ③社会の矛盾にいつも目を向け、私たちに求められているものを検証し続けよう。
- ④ワイズメンズ活動の賛同者と応援団を開拓しよう。

タレントの喩えにあるとおり、私たちの罪は、神様から与えられているタレント（能力・社会的責務）を十分に発揮せず、現状に留まり甘んじることにある。皆が元気で力を合わせ前向きに活動し続ければ、元気な瀬戸山陰部となれるはずである。そして、なによりワイズメンズの皆さんと交流することが楽しいことを皆で共有したい。

### 3. 活動計画

#### Yサ・ユース事業

- ・特殊な事情を持つ部内のYMCAに協力し事業を行う。
- ・YYYフォーラムの開催
- ・Yサ・ユース献金の100%達成
- ・ユースのIYCへの参加促進

#### 地域奉仕・環境事業

- ・各クラブの地域から期待されている継続的な事業を推し進める。  
同時に新たな地域奉仕事業を模索する。
- ・東日本大震災復興支援、熊本地震復興支援を地域奉仕事業と捉え、YMCAと協働する。
- ・国際事業のロールバックマラリアを積極的に進める。
- ・CS、TOF、FF献金の100%達成

#### EMC事業

- ・各クラブの実働会員10名以上を目標
- ・例会の活性化（ゲストスピーカー等）で既存会員の意識向上を図る。
- ・瀬戸山陰部フェニックス委員会を年2回開催する。

国際・交流事業

- ・BF献金の100%達成
- ・DBC、IBC締結クラブとの交流を積極的に推進し、交流の楽しさを共有する。
- ・部会や区大会への積極的な参加を推進する。
- ・瀬戸山陰部合同行事への参加を通じて交流を深める。

メネット事業

- ・国内外プロジェクトへの協力
- ・部会でのメネットアワー開催

## 4. 部行事予定

評議会 第1回 2017年7月17日(祝・月) 会場:日本聖公会米子聖ニコラス協会  
 第2回 2018年5月12日(土) 会場:未定(米子)  
 部会 2017年10月14日(土) 会場:YMCA米子医療福祉専門学校  
 クラブ創立20周年記念行事を同時開催

## 5. その他の計画・特記事項

姫路、岡山、鳥取、米子4都市で瀬戸山陰部合同行事を、Yサ・ユース事業またはCS事業としてなるべくマスコミに取り上げてもらえるような企画で開催し、地域の人たちにYMCAまたワイズメンズクラブの名前をアピールするとともに、オール瀬戸山陰部の力を結集し、交流の楽しさも共有する。

## 6. 部役員

役職	氏名	クラブ名
部長	福永 君二	米子
次期部長		
直前部長	中野 浩	岡山
書記	(近藤 富美夫)	米子
会計	野口 純一	米子
事務局長	矢野 正博	米子
連絡主事	矢野 正博	米子
代議員	中野 浩	岡山
代議員	福永 君二	米子
監事	岩崎 圭三郎	姫路
常置委員会		
PR委員会		

## 7. 事業主査

役職	氏名	クラブ名
Yサ・ユース	三宅 敬	姫路グローバル
地域奉仕・環境	早川 悟	鳥取
EMC	菅原 好紀	姫路
国際・交流	丸山 恵子	岡山
メネット	後藤 富貴子	米子

## 8. クラブ会長

クラブ名	会長名
姫路	山本 和生
岡山	長壽 和子
鳥取	山根 幹雄
姫路グローバル	山水 満
米子	吉岡 太佑